

科目名	生涯教育学特論 (Advanced Study of Lifelong Education for Specialist)			科目コード	M106
選択区分	選択	履修時期	1 前	単位数 (時間)	2 単位 (30時間)
担当教員	野本 百合子・仲渡 江美			関連DP	看③④⑤、医③④⑤
授業概要	<p>成人への生涯教育の基盤となる「成人教育学 (Andragogy)」や専門職者への教育に関連する知識を教授する。また、職場の人材育成や学生指導のあり方を「成人教育学」や専門職教育の知識を活用し、教育的実践を提案、討議する機会を提供する。〔野本担当〕</p> <p>青年期以降の発達段階や発達課題、学習過程について、具体的かつ体系的に理解することを目指す。また、人間の学習行動とワークコミットメントとの関係、キャリア発達とメンタルヘルスについて、ディスカッションを交えながら展開し、理解を深める学びにつなげていく。〔仲渡担当〕</p>				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「成人教育学」とその対象者の特徴を述べる。 2. 従来の「教育学」と「成人教育学」の相違点を述べる。 3. 1.2. の学習成果に基づき、成人及び専門職への教育について自らの意見を述べる。 4. 青年期以降の発達の特徴と、学習の仕方について文献を通して学ぶ。 5. ワークライフバランスや職業人としての精神的健康のあり方について、自らの考えを述べるができる。 				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者	
1	「成人教育学」の理解	「成人教育学」とは何か ーその対象と方法	野本百合子	
2		専門職者への教育 ー専門職の特徴と人材育成		
3	「成人教育学」の関連文献 講読	Malcolm S. Knowles 著「成人教育の現代的実践」の講読 ープレゼンテーションと討議		
4				
5	専門職者への教育	専門職者への教育に関連する文献講読 ー所属組織等での教育を考える		
6				
7	まとめ	成人への教育の現状分析と改善策の検討 ーまとめ		
8	人間の発達と学習	発達理論の概観		仲渡江美
9				
10	青年期・成人期・老年期の 発達と学習の特徴	発達心理学研究における論文の講読および発表を通して、 青年期以降の発達と学習の特徴をつかむ		
11				
12	学習観の変遷	学習心理学・認知心理学・状況的学習理論・協同学習の立場 から人間の学習過程について学ぶ		
13	学習を支えるメカニズム	自己効力感・メタ認知の事例から学ぶ		
14	職場の中での学習	ワークコミットメント理論について		
15		キャリア発達・職業教育とジェンダー・セクシャリティ		
成績評価方法		課題レポート 50%、プレゼンテーション 50%で評価する (配点：野本 50 点、仲渡：50 点)。		
必携あるいは 参考図書・文献		必携図書 ・Malcom S. Knowles (堀薫夫他)：成人教育の現代的実践ーペダゴジーからアンドラゴジーへ、 鳳書房 参考文献 ・Malcom S. Knowles：The Adult Learner, 7th Ed.：The Definitive Classic in Adult Education and Human Resource Development, Butterworth-Heinemann		
授業時間外の 学習について		提示された課題や講読図書について、プレゼンテーション資料を作成するための時間を要する。		
関連科目		該当科目なし		
備 考				